

たそがれの維納（ウィーン）（1934）

MASKERADE
MASQUERADE IN VIENNA

メディア 映画

ジャンル ロマン스 ドラマ コメディ

製作国 オーストリア

色彩 B&W

時間 99分

初公開日 1935/09

公開情報 劇場公開

【解説】

監督デビュー作「未完成交響楽」が評判になったフォルストの二作目。20世紀初頭のウィーン情緒豊かなロマンス映画の快作で、その流麗な話術に心から酔えるはずだ。雪降る早春。舞踏会に現れた人気画家ハイデネックはかつて情を通わせたこともある、今は指揮者の妻のアニタには一瞥もくれず、その義兄の医師ハラントの妻ゲルダを口説いて、仮面をつけさせた上でヌードを描く。その絵は手違いから雑誌の表紙を飾って一大スキャンダルとなり、ハラントは馬車に残されたマフから義妹アニタがモデルではないかと疑う（実はそれは妻が借りて身に着けていたものだった）。弟の名誉のため画家に近づき真偽を質すと、彼は口から出まかせに“ドゥーア（長調）”と答えた。だが、その名の女性は実在したのだ。侯爵夫人の読書係を務める美しく聡明な娘がそれで、彼女が物語に絡んでくる手際、そして、ハイデネックに真実の愛を気づかせる展開は、予想はできても、洗練された演出ゆえに、魅了される。

【クレジット】

監督	ヴィリ・フォルスト	Willi Forst
原作	ヴィリ・フォルスト	Willi Forst
脚本	ヴィリ・フォルスト	Willi Forst
撮影	フランツ・プラナー	Franz Planer
音楽	フランツ・グローテ	Franz Grothe
	ウィリー・シュミット＝гентナー	Willy Schmidt-Gentner
出演	アドルフ・ヴォールブリュック	Adolf Wohlbruck
	オルガ・チェホーフ	Olga Tschechowa
	パウラ・ベッセリー	Paula Wessely
	ヴァルター・ヤンセン	Walter Janssen